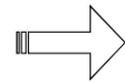


## 新たな賑わい機能(案)

## 1 新たな賑わい機能導入の必要性について

- ・人々の価値観が多様化するとともに、人生100年時代を迎えて自由時間が充実している中、県民の多様なニーズへ対応【機能の多様化】
- ・高齢層だけでなく、若年層や学生など利用者層のさらなる拡大【利用者の拡大】
- ・元町山手地区の賑わい拠点の1つとして、交流人口の拡大に寄与【回遊の創出】



多様な県民ニーズに対応できる新たな賑わい機能を導入することで、新たな利用者層を開拓し、新県民会館の目指す「多様な人々が集う幅広い文化拠点」を実現

## 2 新たな賑わい機能の例

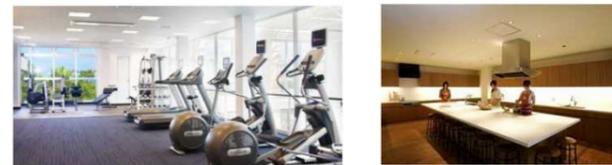
## (1) 教養・文化

- ・図書館(デジタルコンテンツを取り扱う小規模なもの)
- ・博物館(兵庫県のイメージ(スイーツなど)に合うもの)
- ・サテライトキャンパス
- ・生涯学習コーナー
- ・ライブハウス
- ・映画館(ミニシアター)



## (2) 健康・福祉

- ・フィットネスジム、トレーニングルーム
- ・キッチンスタジオ
- ・福祉用具展示相談室、体験室
- ・点字図書館



## (3) 産業・観光

- ・起業家支援のためのコワーキングスペース、相談室
- ・県内産業・観光に係るレファレンスセンター



## (4) その他集客施設

- ・カフェ
- ・レストラン
- ・本屋(カフェ複合)
- ・屋内動物園、水族館(小規模、触れあい重視)
- ・アンテナショップ(本県以外も(近畿圏))



## 3 他府県における新たな賑わい機能の好事例

## 【大和文化創造拠点シリウス】(神奈川県大和市)

開館日:平成28年11月

機能:ホール

メイン1,007席/最大間口18m/奥行11m

サブ272席/最大間口12.6m/奥行11.6m

ギャラリー

面積219.3㎡/天井高4m/壁長114.5m可動式パネル含

図書館

面積5,329㎡、カフェ併設、こども図書館や点字図書館も

生涯学習センター

面積2,410㎡/音楽スタジオ含(40名・5名・2名)

屋内こども広場

面積763㎡/保育室含 等

特徴:1階カフェで購入したコーヒーは館内の図書館のどこでも飲食が可能。有料個人スペース有。生涯学習の一環としてスタジオの併設や、こどものための屋内プレイランドを設置。

年間来訪者数:H29.11:300万人、H30.10中旬時点:300万人

## ○複合施設によるメリット

- ・幅広い層の市民の「居場所」となった  
(10代:10%、20~30代:30%、40~50代:20%、60代以上:40%)
- ・各施設が連携した取組(ex.ホールの公演に関する図書の展示)が可能



外観



図書館



生涯学習センター



げんきっこ広場



エントランス  
※カフェや企画展示  
スペースがある

## 【武蔵野プレイス】(東京都武蔵野市)

開館日:平成23年7月

機能:図書館

カフェ併設(夜はアルコールも可)

生涯学習センター

武蔵野地域自由大学(武蔵野市内にある大学との連携事業)

ギャラリー

面積90㎡/天井高3.9㎡

スタジオ

面積20㎡/2室/平日14:30以降、土日祝、夏休み期間は青少年専用

工房

面積40㎡/平日14:30以降、土日祝、夏休み期間は青少年専用 等

特徴:図書館機能に、生涯学習支援、市民活動支援などの機能のほか、一部施設の利用を青少年に限る(時間帯指定)などといった、青少年活動支援機能も併せもつ。

年間来訪者数:H29:195万人、H28:195万人、H27:175万人、H23(オープン):100万人

## ○複合施設によるメリット

- ・10代の利用率が約4割(H29)と青少年の「居場所」となっている
- ・青少年だけでなく、幅広い層にも「居場所」として定着している  
(10代:40%、20~30代:20%、40~50代:20%、60代以上:20%)



外観



図書館



カフェ



ワーキングデスク(有料)  
※仕事帰りのビジネスマンも  
利用(年間会員制度有)

### 【J:COMホルトホール大分】(大分県大分市)

開館日:平成25年7月

機能:ホール 大ホール1,201席/間口17.7m/奥行15m/稼働率85%

小ホール202席/平土間利用可能/稼働率100%

スタジオ 面積33㎡(レッスンバーと鏡設置)、18㎡(バンド)、8㎡(ピアノ)

図書館 面積約4,500㎡

サテライトキャンパス 地元大学と地域が連携、県民と留学生との交流の促進を図る

健康プラザ トレーニングルーム、スタジオ、キッチンスタジオ(調理実習室)など

市産業活性化プラザ 創業に関する相談や中小企業の様々な課題の相談など 等

特徴:文化、福祉、教育、産業など多機能型複合施設。徒歩圏内にシアターや美術館など既存ストックとの機能連携、補完が可能。ネーミングライツの導入。

年間来訪者数:H29:197万人、H28:198万人、H27:205万人

(H29のうち、図書館52万人、ホール27万人、会議室32万人、産業活性化プラザ4万人、その他83万人)

#### ○複合施設によるメリット

- ・安全、安心の場所として多世代の人が訪れる
- ・各施設で連携を行い、市民の新たな発見や新しい活用方法を醸成する場となっている



外観



産業活性化プラザ



サテライトキャンパス



トレーニングルーム

### 【周南市徳山駅前図書館】(山口県周南市)

開館日:平成30年2月

機能:図書館 本屋(TSUTAYAが運営)、カフェ併設

交流室スペース 会議、イベント 等

特徴:図書館を中心に、飲食施設、市民活動センターなどが集積。図書館だけでなく、本屋・カフェも併設。

来訪者数:H30.2~9月の累計 135万人(全体年間目標120万人)

#### ○複合施設によるメリット

- ・基本構想策定後、中心商店街等の新規出店数、街中歩行者等通行量が増加(中心市街地活性化基本計画で定めている数値目標数を、どちらも開館後には達成)
- ・施設のスペースを利用したパブリックビューイングなど「にぎわい」のイベントの数が増えた



外観



館内入口



図書館



本屋

※本以外の物販も実施